

答 坂本キャンパスへの設置については、大学による説明が重ねられる中、地域連絡協議会での議論の状況や、関係団体から早期整備を求める要望が提出されている状況などから、市民の理解が広がっていると認識している。また、国の関与についても文書で明確に示されたことなどから、これらを総合的に勘案し、地元自治体として県とともに施設設置に協力するという判断を行った。

今後は、長崎大学において安全性の確保と地域との信頼関係を築く作業が続けられるものと考えているが、引き続き、大学と国に最大限の努力を求めるとともに、地元自治体として事業を側面から支援していきたい。

BSL-4施設：エボラ出血熱の原因ウイルスなど、危険度の高い病原体を取り扱うことができる実験施設

子どもに対する国民健康保険短期被保険者証の発行状況

問 未納世帯であっても高校生以下の子どもには被保険者証の期限が切れることのないよう対応すべきと考えますが、長崎市の状況について伺いたい。

答 長崎市では短期被保険者証の更新の機会を捉え、納付相談・指導を行った後に被保険者証の交付を行うことで、徴収の確保や制度の理解促進を図って

いる。

しかし、納付相談などを行う機会がない世帯については、一定期間経過後に被保険者証を郵送交付しているため、有効期限が過ぎた後に新しい被保険者証が手元に届くという状況が生じている。

そこで、次の更新時期である平成29年8月以降は、納税相談などはこれまでどおり行いながら、高校生以下の世帯員に対しては、有効期限が切れる前に被保険者証を交付したい。

チーム2020

V・ファールン長崎への支援

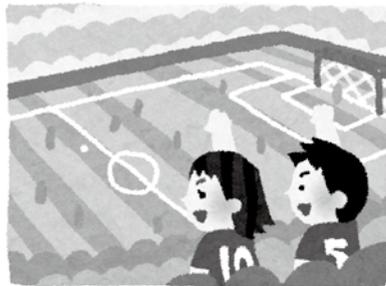
問 現在、長崎市はどのような支援を行っているのか。また、今後、支援を拡大する考えはないのか。

答 長崎市では、V・ファールン長崎のホームゲームを盛り上げることで地域の活性化を図るため、平成25年度から「V・ファールン長崎応援事業」を実施している。

この事業では、ホームゲームに小学生と保護者をペアで無料招待することで、V・ファールン長崎を集客面で支援するとともに、子どもたちにトップレベルの試合を間近で見られる機会を提供し、スポーツへの関心を高めることに大きな効果をもたらしていると考え

ている。

支援事業の拡大については、V・ファールン長崎に対し、どのような支援が可能なのかも含めて、総合的に判断していきたい。



三菱重工業長崎造船所幸町工場の跡地活用

問 長崎県、長崎市も参加した跡地活用検討会の成果と今後の進め方について伺いたい。

答 検討会では、先進性・モデル性のある土地利用としてほしい、若年層の流出抑制につながる良質な雇用を創出する場としてほしいなどの意見を述べてきた。

この検討会での議論を踏まえ、三菱重工業からは「住む・働く・楽しむ」という3つの視点から豊かな暮らしを実現するとともに、多世代が交流し、活気あふれる持続可能なまちづくりを先導する拠点という、まちづくりのコ

ンセプトが発表されている。

三菱重工業においては、平成29年度から、コンセプトに沿った土地活用を図る事業者を公募する予定と聞いているが、長崎市としては、市の発展に貢献する土地活用が図られるよう、今後も協力したい。

自由民主党

長崎みなとメディカルセンター市民病院の経営改善

問 より効率的な経営を行うために地方独立行政法人に移行したにもかかわらず、赤字が続いている。今後、どのようにして黒字化していくのか。

答 長崎市立病院機構においては、平成29年1月に新市立病院の建設工事が全て完了したが、経営状況については、平成24年度から平成27年度まで24億3900万円の累積欠損金が生じており、平成28年度も約3億円の収支不足が見込まれている。

そのため、収入面では、病床稼働率は80%超を維持し、患者数などの増を図り、また、支出面では、人件費の適正化を図るなど、経費の縮減に取り組む、収支の改善を図ることとしている。経営改善については、市においても、病院機構と一体となって検討し、さらなる効率的な運営に努めたい。